

そう だい しゅつ き
総 題 「出エジプト記」

だいろっ か あし うみ とお はちがつこのか
第6課 葦の海を通過して（8月9日）



せき や しゅうち
関谷 修一

いち あんそくにちごご
1. 安息日午後

あんしやうせい く
[暗唱聖句]

おそ 怖いとはならない。おつ 落ち着いて、きやう 今日、あなただちのために おこな 行われる主の救いを見なさい。あなただちはきやう 今日、じん 人をみているが、もうにど 二度と、えいきゆう 永久に彼らを見ることはない。主があなたたちのために たたか 戦われる。あなたたちはしず 静かにしていなさい。（出エジプト記 14：13、14、しんきやうどうやく 新共同訳）

わたし 信じて弱く、ちい 小さなものです。けれど、かみ 神はいつでも私たちのそばにいてくださり、わたし 救うために たたか 戦われます。出エジプトをしたひとびと イスラエルの人々のためにもかみ 神は たたか 戦ってくださいました。おな かみ わたし ともに おられる。わたし かみ しん 神を信じます。だから、わたし 将来に対して、なん ふあん 何の不安もありません。



に にちやうび い しゅ つか
2. 日曜日：「行って、主に仕えるがよい」

しゅつ じゆうに さんじゆういち さんじゆうに
[出エジプト 12：3 1、3 2]

「さあ、わたしの民の中から出て行くがよい、あなたたちもイスラエルの人々も。あなたたちが願っていたように、行って、主に仕えるがよい。・・・そして、わたしをも祝福してもらいたい。」

ファラオ（エジプトの王さま）は、じゅうばんめ 十番目の災い（よくないできごと）の後で、やっとイスラエルの人たちがぜんいん 全員、エジプトから出て行くことを許しました。そして、「わたしをも祝福してもらいたい」（出エジプト 12：3 2）とも言いました。災い（よくないできごと）が続いたので、もう、よくないことを終わらせたかったのです。でも、ファラオは、まだ、ここからかみ しん 神を信じようとはしませんでした。

さん げつようび ういご ほうけん
3. 月曜日：初子の奉獻

しゅつ じゅうさん に
[出エジプト 1 3:2]

「すべての初子を聖別してわたしにささげよ。イスラエルの人々の間で初めに胎を開くものはすべて、人であれ家畜であれ、わたしのものである。」

かみ じゅうばん め わざわ ちょうなん かちく ういご う し
神が十番目の災い(エジプトのすべての長男や家畜の*初子が打たれて死んだ)からイスラエルの*初子や家畜を救われた(子羊の血を入りの二つの門につけた家は神の裁きが過ぎ越して長男の命が守られました。)ので、*初子は神の特別なものとなりました。

すべてのものは神から与えられ、神のものです。イスラエルの人たちは、この神を信じて、神への奉仕に生きるようにと、初子の心も体も全てを生きた供え物として献げました。

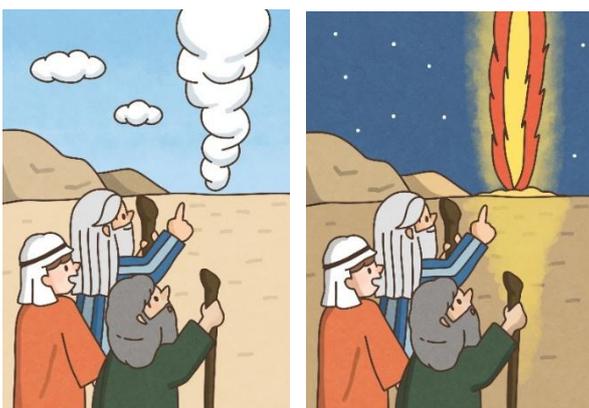
わたし まいにち かみ じぶん ささ あゆ じゅうに いち
私たちが毎日、神へ自分を献げるように歩いていきましょう。(ローマ 12:1)

ういご ふうふ あいだ う おとこ こ
*初子：夫婦の間に生まれた男の子

よん かようび あし うみ わた
4. 火曜日：葦の海を渡る

しゅつ じゅうさん にじゅういち にじゅうに
[出エジプト 1 3: 2 1- 2 2]

「主は彼らに先立って進み、昼は雲の柱をもって導き、夜は火の柱をもって彼らを照らされたので、彼らは昼も夜も行進することができた。昼は雲の柱が、夜は火の柱が、民の先頭を離れることはなかった。」



イスラエルの人々は神を信じ、初子を献げ、エジプトを出発しました。でも、前を見ると葦の海が道を塞ぎ、後ろを見るとエジプト軍が迫って来たのを見たとき、人々の信仰は、あっという間に消えてしまいました。

苦しいことが起こったとき、私たちはどんな行動をするでしょうか。そこに信仰はありますか？

神は、いつも私たちと共におられ、昼は雲の柱、夜は火の柱として助け、導いてくださっています。

ご すいようび しんこう ぜんしん
5. 水曜日：信仰によって前進する

しゅつ じゅうよん じゅうさん じゅうよん
[出エジプト 1 4: 1 3- 1 4]

恐れてはならない。落ち着いて、今日、あなたたちのために行われる主の救いを見なさい。あなたたちは今日、エジプト人を見ているが、もう二度と、永久に彼らを見ることはない。主があ

なたたちのために戦われる。あなたたちは静かにしていなさい。

モーセは、心から神に信頼していたので、イスラエルの人々を励ましました。私たちも苦しいなかで、どのように行動したらよいのか、み言葉から四つのポイントを学びましょう。

①「恐れてはならない」(出 14:13) — 神を信頼しましょう。

②「落ち着いて(いなさい)」(出 14:13) — 神の助けを忍耐強く待ちましょう。

③「今日、あなたたちのために行われる主の救いを見なさい」(出 14:13)

— 神の導きと助けを信じ、神の約束に信頼して感謝できますように。

④「主があなたたちのために戦われる」(出 14:14) — 神にお委ねすることです。

6. 木曜日：モーセとミリアムの歌

[出エジプト 15:2]

主はわたしの力、わたしの歌／主はわたしの救いとなってくださった。この方こそわたしの神。わたしは彼をたたえる。わたしの父の神、わたしは彼をあがめる。

モーセとミリアム、そしてイスラエルの人々は、神がファラオ(エジプトの王さま)とエジプトの軍隊の手から見事に救い出してくださった(エジプトから出られた)ことで讚美をささげました。

私たちの人生は、神が私たち一人ひとりのためにしてくださっているすばらしいみわざで満ちています。いつも恵みを数えましょう。神に感謝と喜びの讚美をささげましょう。神を喜ぶことは、私たちの力です。(ネヘミヤ 8:10)



7. 金曜日：さらなる研究

「歴史における神のこのあがないの行為が確かなものであることは、私たちが将来に対して、何の不安もないことを保証している。・・・私たちが何か不可能に直面し、追い詰められ、どちらに向かえばよいのかわからなくなったとき、『モーセの歌』に確信を見いだすことができる。なぜなら、この歌は、神の民の歴史における偉大な出来事を記念しているからだ」

(『アンドリュース聖書注解—旧約聖書「出エジプト記」2 14ページ、英文)。

<話し合いのための質問>

★私たちの人生で、神が私たちのために戦ってくださると聖書にあります(出エジプト 14:14)。

このようなすばらしい神に頼り、生きるためにすべきことは何かあるでしょうか。